

令和元年5月29日

総合政策局国際政策課

第12回 ITF(国際交通フォーラム)交通大臣会合の開催概要

～「地域統合のための交通連結性」に関する大臣宣言を採択～

5月22日(水)～5月24日(金)に開催された第12回 ITF 交通大臣会合において、交通のシームレス化が、社会的一体性や持続可能な開発にとって欠かせない要素であり、持続可能な開発のためには、質の高い交通インフラの整備とガバナンスの改善が重要であることを確認する大臣宣言が採択されました。

令和元年5月22日(水)～5月24日(金)の間、ドイツ・ライプチヒ市において、「地域統合のための交通連結性」をテーマに、第12回 ITF 交通大臣会合が下記の通り開催され、日本から、菊地国土交通技監が首席代表として出席しました。

同会合では、交通のシームレス化による連結性の改善が、社会的一体性や地域の持続可能な開発にとって欠かせない要素であること、持続可能な開発のためには、質の高い交通インフラの整備とガバナンスの改善が重要であることを確認する大臣宣言が採択されました。

記

1. 日程 : 令和元年5月22日(水)～5月24日(金)
2. 場所 : ドイツ・ライプチヒ市
3. テーマ : 「地域統合のための交通連結性」
4. 参加者 : 国土交通省 菊地技監 他
5. 日程概要 :

5月22日	開会全体会合、大臣ラウンドテーブル
5月23日	大臣会合、パネルセッション
5月24日	全体会合

第12回 ITF 交通大臣会合の概要は別紙のとおりです。

※ITF(国際交通フォーラム)とは、加盟60か国の交通大臣、交通関連企業のCEO、学識経験者等が集まり、世界全体にとって戦略的に重要なテーマを取り上げ、交通政策に関する方向性を打ち出す国際枠組みです。毎年5月、ドイツのライプチヒにて全加盟国による大臣級会合が開催されています。

以上

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 国際政策課 : 前野、濱
電話 : 03-5253-8111 (内線 25715)
03-5253-8312 (夜間直通)
03-5253-1561 (Fax)

会議の概要

(1) 大臣会合

主な議題と結果は以下のとおりです。

○大臣宣言の採択

「地域統合のための交通連結性」に関する大臣宣言（別添）が採択されました。

○新規加盟国の承認

新たにチュニジアが ITF に加盟することが承認されました。

(2) 大臣ラウンドテーブル（非公開）

○新たなモビリティのガバナンス

日本を含む17名の各国大臣・民間企業 CEO 等参加者が、自動運転や MaaS などの新たなモビリティサービスに対する規制のあり方や課題、ベストプラクティスの共有などについて議論しました。日本からは国土交通省の菊地技監が参加しました。

(3) パネルセッション

○鉄道による地方の連結

日本の国土交通省を含む6名の各国政府関係者及び民間企業 CEO 等参加者が、鉄道を通じた地方の活性化などについて議論しました。

○つながりを通じた繁栄、地域コミュニティのためのアクセスの確保

日本からは小田急電鉄が上記2つのセッションに参加し、観光と地域の持続可能な発展や MaaS に関して議論を行いました。

(4) 展示ブース

日本からは、日本政府観光局（JNTO）と小田急電鉄の共催により、箱根をはじめとした日本の観光地を紹介する展示ブースを出展しました。

写真1

大臣会合の様子



写真2

大臣会合に出席する菊地技監

